

私たちの仕事は、特別な日を創ることです

40<sup>th</sup>  
and more

セレスポ

セレスポ・ニュース  
平成29年10月発行  
第97号

# CERESPO NEWS

vol.  
97

October  
2017

小牧山薪能

日本の伝統芸能  
能、謡曲の魅力に迫る



こまき信長夢夜会 2017

信長の気持ちで  
楽しんで欲しい  
夢のような夜会

セレスポ  
Pick Up



トークセッション  
「スポーツ×イベント×地域」を開催しました。

# 信長の気持ちで 楽しんで欲しい 夢のような夜会



9月16日、小牧山史跡公園で信長夜会が開催されました。小牧城を居城とした信長は積極的に新しいもの、珍しいものを取り入れ、芸能にも興味を示したと言われています。夢夜会はそんな信長が思わず笑顔になってしまうような催しを集めて現代風にアレンジしていました。今回は、夜会を企画した小牧市役所の観光交流係小林夕記さま、伊藤貴志さまにお話をうかがいました。

## 雨が降っても お洒落だった会場

—夢夜会は、どんな経緯で始まったのですか？

**伊藤さん**：以前は、全国地域ブランドサミットとおまつりを開催していました。星座を望遠鏡で見たり、お茶会をやったりしていました。平成25年に小牧山城を盛り上げようという動きがあり、信長が天下統一へ踏み出した土地だとアピールすることに決まり、現在の夢夜会になりました。

**小林さん**：夢夜会は芸能や食、音楽などを集めて信長が楽しんだであろう夜会を現代風に再現しています。今回、晴れてくれればと願っていましたが雨になっ

てしまいました。セレスポさんにも急遽雨対策をもらい、出展者、出演者さんにも前日に電話で連絡をしたのですが、『雨には負けません』と言ってもらえたのは主催者冥利につきました

**伊藤さん**：来場者の多くは、小牧市の方ですが市外にも積極的に発信しています。アンケートでも「小牧山はステキな場所だった」と言っていたことが多いです。

—会場を見て「お洒落だな」と思いました。入り口のライト、会場の設置物など、雨に濡れて一層雰囲気が出たような気がします。雨で能の舞台が市民会館に移ってしまいましたが、次回晴れているときのイベントも見てみたいになりました。

**小林さん**：主催者として安全面には配慮しなければなりません。ただし、安全だからと言って雰囲気を損ないたくありませんでした。ライトの熱でも燃えない素材を考え、見た目も良く女性も安心して使っていただけるトイレカーを設置する

など、セレスポさん含め、さまざまな人が私たちのこだわりを汲んで意見、協力をくれたんです。

**伊藤さん**：“夢”夜会といっているので、夢のような会場にしたいですね。来場する方にも信長の気持ちで楽しんでもらえたら、と「お洒落さ」には徹底的にこだわりました。

**小林さん**：来年もこだわりぬいて、少しでも来場者に「ステキだった」としてもらいたい。たくさんのご意見をいただき、来場者や主催者、協力会社すべてが満足できるイベントをつかっていきたいと考えています。小牧市のイベントといえば「夢夜会」といわれるようにこれからも頑張っていきます。

小牧市役所 シティプロモーション課 観光交流係

小林夕記さま  
(上段列左)  
伊藤貴志さま  
(上段列右)



## EventData

- こまき信長夢夜会2017
- 2017年9月16日
- 小牧山史跡公園、小牧市市民会館(新能)
- 小牧市





夢夜会と同日に薪能も披露されました。あいにくの雨により、薪(たきぎ)を用意していた屋外から、市民会館へ会場を変更しましたが、開演前から海外観光客も含めて、多くの方が集まっていました。今回は、小牧市の謡曲連盟会長に能の魅力のひとつである、謡曲(ようきょく)についてお話をうかがいました。

Interview

## 小牧市謡曲連盟 倉田信雄さま

謡曲(ようきょく)と聞いてピンとこない方もいらっしゃると思います。能を見ていると普段聞いたことがないような歌が流れてきませんか?あれが謡曲です。私たちは先生について謡本(うたいぼん)に書いてある歌詞と音階、場面の絵を見てイメージしながら謡っています。

謡曲はビブラートを出してはいけないなど、カラオケで歌える歌謡曲と比べて難しいところもあります。私も謡曲を始めてから45年になりますが、先生について少しでも上手くなろうと練習を重ね

ています。謡本を渡されて最初はとにかく謡いきる、二回目は感情を入れてみる、最後は各々が持っている感情も入れてみる…

難しそうですが、歴史を身近に感じられるんです。現在謡本は220冊ほどありますが、それぞれがそれぞれの歴史を描いています。義経と弁慶が出会った場所、双方の気持ちに触れることができますし、舞台になった古跡などにも興味が出てきます。

最近は手軽に歌を楽しめるカラオケが



あるので、謡曲に興味を持ってくれる人も減ってしまいました。謡曲に触れると、能を通して歴史を楽しむことができます。謡うことにも深みが出てくると思いますので、ぜひ若い人にも触れていただきたいです。



## REPORT 株式会社セレスポ 名古屋支店 中村友美

### 主催者さまのこだわりを実現し より多くの方が楽しみにするイベントにしていきたい

セレスポは夢夜会、薪能ともに会場設営をメインで担当。夢夜会は打ち合わせの段階から雰囲気づくりにとても気を配っていらっしゃる事がわかりましたので、弊社でも照明や音響、装飾デザイン、テントの配置など、お客さまのイメージ通りに近づくよう頭をひねりました。

薪能は多くの方が楽しみにしているイベントですので、今年は1,300脚の観客席を設置していました。それでも立ち見が出るほど人気で、限られた空間に多くの方がストレスなく観劇で

きるよう、いろいろ工夫しました。

夢夜会と薪能は大先輩から引き継いだ仕事で個人的にも「やるぞ!」という気持ちで臨みました。お客さまには「いままでの担当と変わったから」と不安を感じられないように、電話だけで済ませずとにかく直接お会いしてお話しする機会を大事にしました。

会場となった小牧山史跡公園は、朝早くから夕方までたくさんの方が散歩に訪れます。昨年来場してくれた方から「今年も楽しみにしています!」とお声をかけていただけたり、能の舞

台が組み上がっていくのを見て「今年はどうなイベントがあるんですか?」と質問されたりすることもありました。

セレスポでの仕事を一言でまとめるのは難しいですが「これだけ多くの方が楽しみにしてくれるイベントなんだ」とやり甲斐も感じます。夢夜会、薪能ともに毎年、主催者さまといろいろアイデアを出し合っていますので、市外の方にもぜひ遊びに来ていただきたいです。毎年セレスポが関わって行けるように、これからも頑張ります!



セレスポ  
Pick Up

# トークセッション 「スポーツ×イベント×地域」を 開催しました。

9月26日に、トークセッション「スポーツ×イベント×地域」を開催しました。

講師には、本田 祐嗣氏（公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会）と上井 雄太氏（株式会社フューチャーセッションズ）を迎え、第一部「ラグビーワールドカップ™ 活用の切り口」「フューチャーセッションズ\*1」についてお二人を含む講師から多くのインプットを受けました。第二部では、参加者自身が感じた気づきや疑問に対して、講師が課題や取り組みについての解説を交えながら対話を進め、多様な組み合わせが生み出すレガシーについて意見交換をおこないました。

短い時間ではありましたが、さまざまな業種・職種の方にご参加いただき、多くの可能性を広げることができました。セッション終了後にはネットワーキング

の輪がいつまでも続いていましたので、本セッションを機に新しいアクションが生まれると強く感じました。

セレスポでは、今後もサステナビリティや、レガシーに関するセミナーを開催してまいります。ご興味ございましたら、ぜひご参加ください。

※1：問題そのものを自分事として考えながら、いろんな角度で見つめ、ありがたい未来を構想すること



## 参加者の声

- 興味深いお話が聞けて、対話の時間もあり、インプットとアウトプットのバランスが絶妙でした。
- 対話形式によって今まで接点のない方々と会話ができ、他業界の方々がどんなことを考えているのも聞くことができました。
- さまざまな立場の人たちが一つの課題に対して対話することで、可能性（地方創生・ファン層の拡大・イベントの成功など）が広がり、よりよい未来の創造につながると感じました。



上井 雄太氏

本田 祐嗣氏

セミナーに関するお問い合わせはこちら

株式会社セレスポ  
コーポレートデザイン室  
TEL：03-5974-1111  
Mail：cd@cerespo.co.jp



## 発行

発行日：平成29年10月25日

発行元 株式会社セレスポ (CERESPO CO.,LTD.)  
〒170-0004 東京都豊島区北大家1-21-5 (本社)  
TEL：03(5974)1111 FAX：03(5394)7651  
http://www.cerespo.co.jp/

編集 山川 譲 (yawn)  
記事 コーポレートデザイン室  
デザイン 山本制作所

## 編集後記

暑さもやわらぎ、秋らしさを感じるが多くなりました。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋など、秋にはたくさんの楽しみ方があります。それぞれの由来は諸説ありますが、スポーツの秋は1964年の東京オリンピックがきっかけで制定されたようです。読書の秋は、夏に比べて日が短いことや読書週間（10月27日～11月9日）があること、食欲の秋は、1年の中で最もおいしいものがたくさん食べられる季節であること、本能的に寒い冬が近づいてくるとエネルギーをためておかなければならないと思うので秋には食欲が増すからそういわれているようです。秋にしか感じることでできない気候や景色を存分に味わい、みなさまの○○な秋をお楽しみください。